



HOKKAIDO  
UNIVERSITY

# 講義「人工知能」 第3回 AI関連ニュース

北海道大学大学院情報科学研究院  
情報理工学部門 複合情報工学分野  
調和系工学研究室 准教授 山下倫央

<http://harmo-lab.jp>

[tomohisa@ist.hokudai.ac.jp](mailto:tomohisa@ist.hokudai.ac.jp)

2024年4月16日(火)

## ❖ 「OpenAI Japan」 爆誕 日本でも人材採用

- <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/15/news124.html>

- 2024年04月15日 ITmedia

- 米OpenAIは4月15日、東京都にアジア初の拠点「OpenAI Japan」を設立したと発表した。社長は元アマゾン ウェブ サービス ジャパン社長の長崎忠雄氏。

- 「長崎は、セールスと事業開発をリードし、渉外、製品およびサービスに関する計画、コミュニケーション、オペレーションなどを担うチームを構築する」（OpenAI）という。

- 日本での求人を進める旨も明らかにした。

## ❖ GPT-4に日本語特化モデル OpenAI Japan 始動会見で発表

- <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/15/news123.html>
- 2024年04月15日 ITmedia
- 米OpenAIは4月15日、大規模言語モデル「GPT-4」について、日本語に最適化したカスタムモデルを発表した。
- 日本語のテキストを記述する能力が向上しており、「GPT-4 Turbo」より最大3倍高速とうたっている。今後数カ月以内にAPIをリリースするという。

## ❖ OpenAI

- 2015年

- サム・アルトマン、イーロン・マスクらが設立
- 10億ドル≒1300億円 の提供を受ける

## ❖ OpenAI が2022年11月30日に公開

- 大規模言語モデル GPT-3.5, GPT-4 を基に構築
- 登録者数
  - 史上最速の公開2か月でユーザ数1億人突破
- 料金：無料
  - GPT-4 の使える有料版：月20ドル

## ❖ ChatGPT (GPT-4)の性能

- アメリカの司法試験の上位10%
- ペンシルバニア大 MBA最終試験で B～B<sup>+</sup>

## ❖ 「ChatGPT」アルトマンCEOが来日 岸田総理に「欠点軽減する」

■ <https://www.youtube.com/watch?v=sRAPY7kIZSQ>

■ 2023年04月10日 TBS NEWS DIG Powered by JNN

- 対話型AIサービス「チャットGPT」について今、世界で規制の動きが広がっています。日本はどう向き合うのか。
- 岸田総理が開発会社のCEOと面会しました。午前11時前に総理官邸を訪れた一行。
- チャットGPTの“生みの親”とされ、今、世界で注目されているアメリカ・オープンAI社のアルトマンCEOです。
- 岸田総理はG7の首脳としては初めて、アルトマンCEOとの面会に踏み切ったのです。

## ❖ 伊、チャットGPT禁止 欧米初、個人情報収集違反

- <https://www.sankei.com/article/20230401-YWERQ2OIOJMCVDXKH5KCBNAJF4/>

- 2023年4月1日 産経新聞

- イタリアのデータ保護当局は3月31日、米新興企業オープンAIが開発した人工知能（AI）を使った対話型ソフト「チャットGPT」を一時的に使用禁止にすると発表した。
- ロイター通信によると、欧米諸国でチャットGPTの使用を禁止するのはイタリアが初めて。

## ❖ Instagram、Facebook、ThreadsのAI生成画像のラベル表示、5月から本格化

- <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/06/news050.html>
- 2024年04月15日 ITmedia
- 米Metaは4月5日（現地時間）、Instagram、Facebook、Threads上に投稿されたAI生成画像への「Made with AI」ラベル表示を5月から本格化させると発表した。
- “業界標準のAI画像指標”を検出した場合、またはユーザーがAI生成だと明らかにした場合にラベルを付ける計画だ。
- 5月からは、Google、OpenAI、Microsoft、Adobe、Midjourney、Shutterstockなどのツールで生成され、指標が残されている画像にラベルが表示されることになる。

## ❖ Instagram、Facebook、ThreadsのAI生成画像のラベル表示、5月から本格化

- <https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2404/06/news050.html>

- 2024年04月15日 ITmedia

- 例えばOpenAIは2月から、「DALL・E 3」で生成した画像にC2PAメタデータを含ませている。

- また、MetaはAI生成コンテンツのモデレート方法を7月に変更する。これも監視委員会の指摘を受けてのもので、コミュニティガイドラインに反していないAI生成コンテンツの削除を停止する。

- ただし、いじめや選挙介入、嫌がらせに関するポリシーなどに違反する場合は、AI生成であろうと人間によるものであろうと、従来どおり削除する。



- ❖ OpenAIがDALL・E 3で生成した画像にC2PAの電子透かしを追加！
  - <https://staffing.archetyp.jp/magazine/openai-dall/>
  - 2024年2月8日 ARCHETYP Staffing Magazine
- OpenAIは、DALL・E 3で生成した画像に、C2PA（Coalition for Content Provenance and Authenticity）準拠のメタデータを自動で追加することを発表しました。
- メタデータが追加されることにより、画像がAIによって生成されたものなのか、そうでないのかを識別できるようになります。

## ❖ 真実さえも嘘に変えかねない「ディープフェイク」の脅威 アメリカ大統領選への影響に懸念の声

- <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1020308?display=1>

- 2024年2月27日(火) TBSテレビ

- アメリカ大統領選挙はこれから、候補者選びのヤマ場を迎えますが、AI=人工知能を使って、極めて精巧な偽の動画や音声を作る技術「ディープフェイク」が選挙戦に影響するのではないかと、懸念の声が上がっています。

## ❖ 「A I 脚本」を人気声優が朗読...銘打ったイベントは中止、「盗作」と批判相次ぎ

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/42b43eeac4cbe19526dd3a4bab8cf9b72f9268c3>

- 2024年4月10日(水) 読売新聞

- 「A I 脚本」を、人気声優が朗読する――。
- そう銘打ったイベントが3月、中止に追い込まれる事態が起きた。生成A I（人工知能）が脚本などの著作物を無断学習している可能性を踏まえ、「盗作脚本ではないか」「声優を応援できない」などの批判が相次いだためだ。
- 専門家は「A I を使ったイベントでは権利者への配慮が必要だ」としている。

## ❖ 「A I 脚本」を人気声優が朗読...銘打ったイベントは中止、「盗作」と批判相次ぎ

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/42b43eeac4cbe19526dd3a4bab8cf9b72f9268c3>

- 2024年4月10日(水) 読売新聞

- 同社によると、脚本は、業務委託したクリエイターが、有料で契約したチャットGPTなどの生成A Iにアイデア出しを指示し、生成A Iが作り出したものをたたき台にして、作成したという。既存の著作物と類似していないか複数で確認したとしている。

- 劇場では、脚本の内容や話の流れに不自然な点があっても声優がそのまま読み上げて、終了後のトークセッションで、どの部分がA Iで作られたものか種明かしする予定だったという。

- ❖ 「A I 脚本」を人気声優が朗読...銘打ったイベントは中止、「盗作」と批判相次ぎ
  - <https://news.yahoo.co.jp/articles/42b43eeac4cbe19526dd3a4bab8cf9b72f9268c3>
  - 2024年4月10日(水) 読売新聞
- 日本シナリオ作家協会の担当者は小委員会の例示について「著作権侵害のケースがなお明確には示されていない」とした上で、「脚本家はA Iに創作物を学習される側にも、A Iを使って創作物を作る側にもなり得る。
- グレーゾーンが大きいと、今後も、A Iを使ったことが理由で作品の発表が中止になる事態が起こる可能性がある」として、更なる法整備が必要と訴える。

## ❖ 「ウルトラマン」に似た画像提供の生成 A I 事業者、中国の裁判所が著作権侵害で賠償命令

- <https://www.yomiuri.co.jp/culture/subcul/20240415-OYT1T50069/>

- 2024年4月15日 読売新聞オンライン

- 中国の裁判所が、生成 A I（人工知能）による「ウルトラマン」によく似た画像について、A I サービスを提供していた事業者に著作権侵害の責任を認め、損害賠償などを命じる判決を出したことが 15 日、わかった。生成 A I と著作権を巡る判決として、日本でも注目されそうだ。

## ❖ 「ウルトラマン」に似た画像提供の生成 A I 事業者、中国の裁判所が著作権侵害で賠償命令

■ <https://www.yomiuri.co.jp/culture/subcul/20240415-OYT1T50069/>

■ 2024年4月15日 読売新聞オンライン



A I が生成したウルトラマンに似た画像（判決文より）